

ナンバリング	A②05	科目名	現代社会論 「人類学とフィールドワーク」 —大相撲から文化と伝統を学ぶ—
担当形態	単独	担当教員	松山 啓
ディプロマポリシーとの関連性	②, ③, ④		
テキスト	なし		
開講時期	通年	単位数・ 授業形態	4 単位・演習
到達目標	・フィールドワークを実践することで、他者理解の方法を学ぶ。 ・大相撲に関する具体的な事例を考察し、「文化」や「伝統」という概念を説明できる。 ・上記①②について、自分の言葉や文章で表現できる。		
授業の概要	文化人類学とは、フィールドワークを通して対象世界の「文化」や「社会」を研究し、人間とは何かを問う学問である。本授業では、人類学的な思考を学びつつ、フィールドワークを実施することで、理論と実践を往還しながら異文化と他者理解の方法を学習する。この授業では、日本における相撲興行を対象とし、相撲部屋への参与観察や、本場所の観戦、両国の街歩きから「文化」や「伝統」をテーマにディスカッションをする。		
授業計画	第 1 回 文化人類学とは何か 第 2 回 フィールド演習: 大学周辺を歩く(おゆみ野地区) 第 3 回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察 第 4 回 大相撲: 「相撲部屋」について学ぼう 第 5 回 フィールド演習: 相撲部屋で稽古見学をしよう① 第 6 回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察 第 7 回 映画「辛抱」の鑑賞 第 8 回 大相撲: 興行の仕組みを知ろう 第 9 回 相撲の歴史を探る: 「なぜ両国は相撲の街になったのか」① 第 10 回 フィールド演習: 両国の街を歩く 第 11 回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察 第 12 回 前期のまとめ 内容の振り返りとディスカッション 第 13 回 フィールド演習: 大相撲の本場所を観戦しよう 第 14 回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察 第 15 回 フィールド演習: 相撲部屋で稽古見学をしよう② 第 16 回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察 第 17 回 調理実習: ちゃんこ鍋をつくってみよう 第 18 回 映画「相撲道～サムライを継ぐものたち～」鑑賞 第 19 回 佐倉市と雷電為衛門の歴史を学ぶ		

	第 20 回 フィールド演習:佐倉市周辺を歩く(雷電ゆかりの地を巡る、国立歴史民俗博物館見学) 第 21 回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察 第 22 回 フィールド演習:相撲部屋で稽古見学をしよう③ 第 23 回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察 第 24 回 一年間のまとめ				
準備学習と必要時間	・事前に示された課題やテーマの概要を調べておくこと。(必要時間:60 分) ・事前の授業準備において、コメントや質問を考えておくこと。(必要時間:60 分)				
評価方法	・授業における積極的な取り組みとコメント — 30% ・フィールドワークの調査報告・発表 — 30% ・レポート — 40%				
参考文献	岸政彦・石岡丈昇・丸山里美(2016)『質的社会調査の方法—他者の合理性の理解社会学』有斐閣. 新田一郎(1994)『相撲の歴史』講談社. 岸上伸啓(2018)『はじめて学ぶ文化人類学』ミネルヴァ書房.				
特記事項	フィールドワークにおける交通費等は各自負担。授業の進捗状況により、内容や順序の変更等の可能性がある。				
課題へのフィードバック方法	レポート・報告・発表に対するコメントを実施する。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業	必修	幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格		
実務経験のある教員等による授業内容					